

ホームページへの掲載		
済	8月1日	掲載予定

岐阜県立多治見高等学校

学校長 土本 泰
 学校住所 多治見市坂上町9-141 電話 0572-22-4155

- 1 会議の名称 岐阜県立多治見高等学校評議員会 (第1回)
- 2 会議の構成
- | | | |
|-----------|-------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員 (五十音順) | 恩田 豊寛
加藤 芳美
田牧 朋子
長崎 恵美
匹田 浩司 | 多治見青年会議所理事長 欠席
本校育友会役員
本校卒業生
(株)華柳 社員
J R 東海多治見駅首席助役 |
| 学校側 | 土本 泰
水口 猛
酒井 光司
伊藤 昭嘉
加藤 元規
岡崎 正路
堀 裕邦
坂野 富士 | 校長
教頭
事務長
教諭 (教務主任)
教諭 (生徒指導部長)
教諭 (進路指導部長)
教諭 (特別活動部長)
教諭 (教務 記録係) |
- 3 会議の目的 学校運営や教育活動について地域社会や保護者などに説明責任を果たすとともに、要望や意見を幅広く聞き、地域社会からの支援・協力を得て、それを反映できる開かれた特色ある学校作りを推進する。
- 4 会議の開催 平成29年 7月7日 (金) 14:20~16:30 多治見高等学校校長室
委員4人と学校側8人が出席
- 5 会議の概要

学校からの説明

○ (学校長)

アクティブ・ラーニング (以下AL) への取り組みと、育てたい生徒像を説明。

本校に入学してくる生徒は中学校で一生懸命真面目に取り組んできた生徒で、部活動と勉強の両立を目指している。校訓にある「進取」の気概を持ち、表現力豊かな生徒の育成を図りたい。

今の中学3年生から大学入試が変わる。今年も県から研究指定を受け、学校としてアクティブラーニング (以下AL) を推進している。今日の授業参観で最後に見ていただいた3年生の英語の授業活動の中でお互いに英語で説明するという形で全員が積極的に参加していた。

○ (教務主任)

来年度の募集人数やコースについて説明。各中学校を回り説明した。来年度の新しい入試制度について県の発表が遅れているが、様々な進学希望に合うカリキュラムが組めるという点でメリットが大きい。1, 2年は現行のカリキュラムとほとんど変わらないので安心してほしい。クラス編成を工夫し、生徒に手厚い少人数授業を計画している。

多治見高校の目標と方針について説明。AL型の授業がAL委員中心に洗練されてきた。授業の充実と徹底して最後までやりきらせる指導によって、基礎力を身に付けさせる取り組みを行っている。また話し合いや発表する授業が増えた。基礎知識の上で、思考力・判断力・表現力を養っている。補習も積極的に行っている。しかし全ての生徒に一律で行うのは難しい。

○ (進路指導部長)

今年度もⅠ「目標の明確化と評価過程の充実」Ⅱ「開かれた進路指導の推進」Ⅲ「キャリア教育への転換」Ⅳ「新入試への対応」という4つの重点項目を設けて取り組んでいる。短期的な目標として国公立の合格数というものがあるが、昨年度の入試結果は国公立47名、難関国公立大学への合格が数名であった。今年度は国公立60名、難関国公立大学5名の合格を目指している。

Ⅰについては3年の担任団と連携し、国立大学のAOや推薦にも積極的に取り組んでいきたい。Ⅱについては複数の大学が説明会を行う進路イベントに多くの生徒を参加させたい。またホームページへの掲載を迅速に行いたい。Ⅲについては「先輩と語る会」を行い、人生設計の観点から進路設置指導をしていく。総合的な学習の時間を少人数で行うことで主体的に学ぶことを身に付けさせたい。昨年からは進学や学習指導の業者の方を外部講師に招き、多治見高校や東濃地区の外から見た進学分析を生徒や保護者の方に聞いてもらっている。今年度は昨年より多くの機会を設け、理解度を高める。Ⅳについては入試問題分析から年々問題の出題方法が新しくなっている。資料を揃え、生徒に還元していきたい。

国公立の後期受験者数を増やし、最後まで諦めさせない。受験が早く、楽な方法を選ばないように指導したい。

○ (生徒指導部より)

教員全員がAL授業を行い、自己判断力の高い生徒を育てる。そして危機管理の「さしすせそ」を意識して行動する。報告・連絡・相談のしやすい全校体制をとっていく。

生徒指導は自立心を育て、基本的な生活習慣を身に付けさせるために、挨拶の励行、交通安全や身だしなみの指導などを行っている。保健の授業で、通学路のハザードマップの作成や学校付近の危険探しを行ったせいか、5月以降交通事故が減っている。登下校のマナーで地域住民の方にご迷惑をお掛けした。スマホの扱い方を含めて指導していく。教育相談ではスクールソーシャルワーカーに昨年度より多く来てもらえることになった。

○ (特別活動部より)

特別活動部は学校行事と部活動、ボランティア活動を行って自己有用感を持たせたい。学校行事では学校・教員が企画して、生徒が中心になって運営していくスタイルが確立してきた。4月の対面式ではいい雰囲気でも新入生を迎え入れることができた。5月に行ったスポーツ交流大会は写真を見ていただくと生徒の様子がよくわかる。生徒のアンケートの数値も年々よくなっている。

部活動についても今年3月の野球部甲子園出場を始め、空手、科学部、美術部が全国大会、そして弓道部、陸上部、水泳部が東海大会への出場を決めている。ボランティア活動においては今年の7月1日の挨拶運動にハンドボール部と硬式野球部と弓道部が参加し、近隣の小中学校より感謝の言葉をいただいた。吹奏楽部も公民館で楽器演奏を地域の子供たちに教えた。数名はその後お祭りの手伝いをするなど奉仕の輪は続いている。

(教頭より)

今日の評議員会では、前半に授業見学をしていただき、後半に各分掌長からの話を聞いていただいた。些細なことでも構わないので感じられたことなど出していただきたい。次回は2月に評議員会を行い、12月に行う学校評価アンケートの結果等ご報告したい。

学校評議員からのご意見・ご感想

意見1 昨年同様、本社の社員教育でも同じようなことを行っている。社員には「待ち」を減らし、「気づく力」「考える力」を身に付けようと指導している。本日参観させていただいたコミュニケーション力を付けさせる授業は参考になった。1人1人の力がグループ全体を伸ばす。先生たちと同じだと思う。また規則を守る事が集団を高めると研修では話している。多治見高校では規則に対して厳格に指導されていて素晴らしかった。駅構内や付近でのスマホや音楽プレイヤーの使用に対しては今一度注意喚起をお願いしたい。

意見2 オリベストリート沿いで多くの多治見高校の生徒さんを見かける。楽しそうに登下校する中で、自転車のスピードや歩行者としての交通マナーに危険を感じる時もある。地域で生徒のボランティア活動への参加を求めている団体は多い。今後より多くの希望を出すので、生徒の参加を促してほしい。一緒に地域活性化を目指したい。

意見3 今日はどうやって子どもを「自立」させるかという点で親目線で学校を拝見させて頂いた。今の生徒はなかなか自分の力で物事を決める事ができなく、その意味でALは魅力的だと感じた。また授業も生徒の力を伸ばす素晴らしいものだなと感じた。ALはいつまで行っていただけなのですか？

学校 県からの指定は来年までであるが、新入試制度に対応するためにも、今後より実践的に続けていく必要があると考えている。またALを多治見高校の特色にしたい。

意見3 それを聞いて安心した。素晴らしい取り組みであるので是非今後も続けてほしい。親としては、子供がちゃんと発表できるか心配だった。しかし実際に授業を見て、生徒は楽しそうで教員とのコミュニケーションも多かった。

意見4 子どもには学力も社会性も身に付けてもらいたい。多治見高校はそのニーズに応じていると感じた。高校という時期は勉学に励むことが出来る貴重な時間だと思う。社会に出て自分で行動できるように、思考力・判断力・表現力を身に付けてもらいたい。親は子供に甘くなってしまったり、不安に感じることも多い。是非先生方の力を借りたいと思い、この学校に通わせている。

<その他全体的に>

学校 ボランティアについては、希望が多いと聞き有り難い。是非学校へ連絡して頂ければ生徒の参加を募りたい。学校ではボランティア専用の掲示板を作っている。また9割の生徒が部活動において年間で1回はボランティアを行っている。しかし個人的に行う生徒はまだ少ない。

今なぜALを行うのかという声を聞く。現在の国際社会やAIの発達を見ていると生徒に必要な力が変わってきている。入試制度の変更もそれに伴っていると捉えている。授業での発表やペア、グループでの協働学習が大きな鍵である。

6 会議のまとめ（学校長より）

本日はお忙しい中ありがとうございました。貴重な意見をいただき、学校全体で参考にし、必要なところはしっかり手を打っていきます。今後ともよろしくお願ひします。